

『新興・再興感染症研究基盤創生事業（海外拠点活用研究領域）』

令和 7 年度事後評価 対象課題

令和 5 年度公募採択：14 課題

研究開発課題名	研究開発 代表者	所属機関	役職	活用拠点	研究期間
病原体媒介蚊の微生物叢の同定 と病原性ウイルスとの相互作用 解析	岡本 徹	順天堂大学	主任 教授	タイ	令和 5 年 6 月 30 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
アルボウイルス感染症国内流行 阻止に資するベクター昆虫の総 合的研究	葛西 真治	国立健康危機 管理研究機構 国立感染症研 究所	部長	ベトナム	令和 5 年 6 月 30 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
中部アフリカにおけるアルテミ シニン臨床耐性熱帯熱マラリア の分布と経時的頻度変化	金子 修	長崎大学	教授	コンゴ	令和 5 年 6 月 30 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
下痢症原因細菌の完全ゲノム配 列を用いた薬剤耐性遺伝子の伝 播解析～ヒト腸内及び自然環境 中における薬剤耐性伝播ポテン シャル～	黒田 照夫	広島大学	教授	インド	令和 5 年 6 月 30 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
ベトナム北部において感染伝播 する薬剤耐性結核菌クラスター 株の拡大要因の解明	慶長 直人	結核予防会 結核研究所	副所長	ベトナム	令和 5 年 6 月 30 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
フィリピン拠点におけるワンヘル スな視点からのウイルス性胃 腸炎のサーベイランス・ネットワ ークの構築と流行株の解析	河本 聡志	大分大学	教授	フィリピン	令和 5 年 6 月 30 日～ 令和 8 年 3 月 31 日
薬剤耐性菌の超高精度網羅的解 析とその手法の開発	鈴木 仁人	国立健康危機 管理研究機構 国立感染症研 究所	主任 研究員	ベトナム	令和 5 年 6 月 30 日～ 令和 8 年 3 月 31 日

研究開発課題名	研究開発 代表者	所属機関	役職	活用拠点	研究期間
西アフリカのマラリア患者血液 を活用したマラリア発症に関連 する原虫側・宿主側多重遺伝子族 の網羅的解析	新澤 直明	東京科学大学	講師	ガーナ	令和5年6月30日～ 令和8年3月31日
ベトナムで流行する HIV-1 サブ タイプ A/E 感染症の研究	滝口 雅文	熊本大学	特任 教授	ベトナム	令和5年6月30日～ 令和8年3月31日
節足動物媒介性人獣共通細菌感 染症の感染ネットワーク解明の ための研究	邱 永晋	北里大学	准教授	ザンビア	令和5年8月1日～ 令和8年3月31日
フィリピンにおける抗酸菌症疫 学的実態の解明と国際共同研究 を通じたグローバルフィジシャ ンサイエンティストの育成基盤 構築	南宮 湖	慶應義塾大学	教授	フィリピン	令和5年7月10日～ 令和8年3月31日
新規動物由来ウイルス感染症の 検査法の開発と疫学調査への応 用	前田 健	国立健康危機 管理研究機構 国立感染症研 究所	部長	中国	令和5年6月30日～ 令和8年3月31日
疾病 X に備えた病原体抗原エピ トープの網羅的評価法の開発お よび流行予測への応用に関する 研究	モイ メン リン	東京大学	教授	ベトナム	令和5年6月30日～ 令和8年3月31日
中国の放牧家畜が保有するマダ ニ媒介性の人獣共通感染症病原 体を調査する疫学研究	横山 直明	帯広畜産大学	教授	中国	令和5年6月30日～ 令和8年3月31日

令和6年度公募採択：5課題

研究開発課題名	研究開発 代表者	所属機関	役職	活用拠点	研究期間
国際的動向が注目される病原細菌の収集体制構築とその解析	明田 幸宏	国立健康危機 管理研究機構 国立感染症研 究所	部長	タイ	令和6年1月27日～ 令和8年3月31日
ベトナムで流行する下痢症起因細菌の特徴解析と国際比較	井口 純	宮崎大学	教授	ベトナム	令和6年1月27日～ 令和8年3月31日
RS ウイルスの新たな遺伝子型における伝播の優位性の解明	乙丸 礼乃	長崎大学	助教	フィリピン	令和6年1月27日～ 令和8年3月31日
コウモリ由来新規バンダウイルスの性状解析	直 亨則	北海道大学	特任 准教授	ザンビア	令和6年1月27日～ 令和8年3月31日
エムボックスにおける宿主と病原体の遺伝学的相互作用に関する研究	藤本 明洋	東京大学	教授	コンゴ	令和6年1月27日～ 令和8年3月31日